

会 議 録

会 議 名	平成 27 年度第 2 回丸亀市男女共同参画審議会	
開 催 日 時	平成 27 年 11 月 20 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 3 時	
開 催 場 所	丸亀市役所 別館 5 階 第 1 会議室	
出 席 者	<p>出席委員</p> <p>遠城寛子 岡本恵子 杉尾英美 十河靖典 近澤亨</p> <p>中島久美子 中野実千代 中橋恵美子 奈良忠雄 日高幸子</p> <p>福岡由紀子 松岡繁 三村芳輝 三好守</p> <p>欠席委員</p> <p>佐藤友光子 溝渕由美子</p> <p>説明のため出席した者</p> <p>総務部長 横田拓也</p> <p>総務部人権課長 寺嶋寛</p> <p>人権課男女共同参画室長 谷本智子</p> <p>人権課男女共同参画室 糸川裕子</p>	
協 議 案 件	<ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱状交付 2 会長、副会長の選任 3 次期「男女共同参画プラン」の策定について諮問 4 次期「男女共同参画プラン」の策定について <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関するアンケート調査の結果（概要）について ・策定方針、策定スケジュール、策定方法について ・ワーキンググループ委員選任について 5 その他 	
傍 聴 者	1 名	
議 事 の 経 過 及 び 発 言 要 旨	横田部長	<p style="text-align: center;">— 開会 午後 1 時 30 分 —</p> <p>委任状の交付</p> <p>あいさつ</p> <p>みなさん、改めましてこんにちは。本日は大変お忙しい中、本審議会にご出席を賜り感謝申し上げます。合わせて、日頃、市政の推進においては様々な場面でご尽力を賜っていることをこの場を借りてお礼申し上げます。ただ今みなさまに改めて、委嘱状を交付させていただきました。今回、新たに 6 名の方に委員をお引き受けいただいた。今後 2 年間の</p>

		<p>ご尽力どうぞよろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>さて、日本社会は現在、少子高齢化といったような人口構造の変化の中にある。男女共同参画社会の実現については、今後の働き手の確保、あるいはそういったような側面はもちろんであるけれども、すべての人、一人ひとりがその人なりの自己実現をしていける、成熟した社会の実現に向けて、大変重要な視点だと認識をしている。そういった中で、私ども丸亀市としても平成 28 年度までを計画期間とした第 2 次の男女共同参画プランに則って、様々な施策を展開しているが、まだまだその十分な取り組みとはなっていないと認識をしている。この後、みなさまに次の男女共同参画プランの策定についてのご意見をいただきたいということを諮問書としてお願ひを申し上げますけれども、どうかここにお集まりのみなさまの様々なご見識でもって、私ども丸亀市の男女共同参画施策をさらに推進できるよう、ご尽力を賜りたいとお願ひ申し上げます。簡単ではあるが、あいさつとさせていただきます。本日は感謝申し上げます。</p>
	事務局（糸川）	<p>今回は、初めての審議会であるので、みなさまに自己紹介をお願ひしたい。</p> <p>委員(自己紹介)</p> <p>事務局(自己紹介)</p>
	事務局（糸川）	<p>次に、審議会の会長、副会長の選出をお願ひしたい。立候補される方は、挙手をお願ひしたい。</p> <p>（立候補者なし）</p>
	中野委員	<p>事務局一任でお願ひしたい。</p>
	事務局（糸川）	<p>「事務局一任」という声があった。事務局から提案してよろしいか。</p>
	事務局（谷本）	<p>それでは事務局で案を出させていただく。会長は岡本委員にまた、副会長は三好委員にお願ひ致したい。</p>
	委員（全員）	<p>異議なし。</p>
	事務局（糸川）	<p>それでは、会長は岡本委員、副会長は三好委員にお願ひ致したい。正副会長を代表して岡本会長から就任のごあいさつをよろしくお願ひ</p>

	岡本会長	<p>申し上げる。</p> <p>先日、日本のジェンダーギャップ指数が発表された。104位から101位に少しだけ上がっている。世界から見て日本は、男女共同参画が実現されていないという証の数字であり、これは世界から見て恥ずかしいと思う。先進7カ国の中では、断突で順位が低い日本であるが、その日本の中であってここ丸亀、香川という瀬戸内の地域がとても男女共同参画が進んでいない地域であるということをご承知おきいただきたい。国の会議に出席している中橋さんは「丸亀は男女共同参画が進んでいない」というのを切実に分かっていると思うが、丸亀で生まれて丸亀で住んでいる限り、何の不自由もないというのが多くの人の感覚であろう。「なぜ男女共同参画と言われなければならないのか」という気持ちがあるのも事実である。そのようなところもバランスを取りながら、政府の“女性活躍推進”“一億総活躍社会”という施策とも折り合いをつけながら、丸亀市の男女共同参画を進めていきたい。進めていくのは、市民であるが、市役所が率先して推進するためのお手伝いをみなさんと一緒にしたいと考えている。これからの2年間、プランを作るという仕事もあるので、活発なご意見をいただき、一緒に作っていただきたいと考えている。三好副会長ともども、よろしく願い申し上げる。</p> <p>本審議会の役割確認</p> <p>諮問書の交付</p>
	事務局（糸川）	<p>これより審議に移る。ここからの進行は岡本会長にお願いする。</p>
	岡本会長	<p>最初に審議会の運営について、会議の公開、会議録の公開について確認しておきたい。事務局より説明をお願いする。</p>
	事務局（谷本）	<p>本日は佐藤委員、溝渕委員から都合により欠席の連絡を受けている。よって本審議会委員16人の内14人が出席し、丸亀市附属機関設置条例による「過半数以上出席」を満たしているため、この会議が成立していることを報告する。また、この会議は「丸亀市附属機関会議公開条例」により、原則公開となっている。議事録もホームページで公開する。議事録については要点筆記で行い、会長、副会長に内容を確認していただく。発言については委員の名前を記載し、公開する。</p>

	岡本会長	<p>会議の公開、会議録の作成については事務局からの説明のとおりをお願いします。これより議事に移る。</p>
	岡本会長	<p>議事</p> <p>議事（１）次期男女共同参画プラン策定について内の丸亀市男女共同参画に関する市民・企業アンケート結果の概要についての説明を事務局よりお願いします。</p> <p>その前に今回から新しく委員になられた方もいらっしゃるので、全体的な流れが分かる資料7に基づいて説明をお願いします。</p>
	事務局（谷本）	<p>資料7、2～4について説明。</p>
	岡本会長	<p>ここまででご意見、質問は。</p> <p>特にないようなので、次に「次期男女共同参画プランの策定方針、策定方法、スケジュールについて」の説明をお願いします。</p>
	事務局（谷本）	<p>資料5～7について説明。</p>
	岡本会長	<p>ここまででご意見、質問はあるか。</p> <p>1つ伺います。「女性活躍推進法」に基づく、市町村推進計画と事業主行動計画が違うという説明があったが、事業主行動計画については丸亀市役所内のどこかの部署がこの平成27年度末までに作って発表するだろう。事業主行動計画に男女共同参画の視点ということで、男女共同参画室が関わることは考えているのか。部長、いかがか。</p>
	横田部長	<p>事業主行動計画は職員課が策定する。もちろん男女共同参画室も策定に関わっていきたいと考えている。</p>
	岡本会長	<p>内容的に女性が活躍するということで、この市町村推進計画に生かしていくためにも、事業主行動計画の方もしっかりと策定してほしい。今回は数値目標を入れないといけないのか。</p>
	事務局（谷本）	<p>市町村推進計画には数値目標までは求められてはいないが、事業主行動計画には数値目標の設定が求められている。</p>
	岡本会長	<p>事業主行動計画の策定についてはこの審議会はあまり関係がないので、男女共同参画室の方でしっかりと丸亀市の事業主行動計画に目を</p>

		<p>配っていただきたい。それは願います。</p> <p>もう1つ。この資料5の最後の「その他留意すべき事項」で、もちろん今挙げられている点には気をつけてほしいが、アンケートだけで現状把握が不十分な部分がある。国の「第4次男女共同参基本計画策定に当たっての基本的な考え方」にもあるように女性の貧困、M字カーブ等の問題に関して、“すでに丸亀市はM字カーブが下がっていないという現状がある”と前の審議会の委員であった倉敷さんが詳しく解説してくださっている資料があるのでそれを使わせていただくとか、今年の国勢調査の結果を反映した形で、数値から見える確固たる丸亀市の現状をきちんと把握することも大事だと思う。</p> <p>国からも地域の現状に合ったようなプランを作るようにと言われてるので、留意すべき事項として“現状把握を数字として掴む”ところまでしていただきたい。</p> <p>実際、DVの被害者支援や女性活躍はそれぞれ担当課が他にもあり、また女性相談を受けているところは子育て支援課が中心であるので、男女共同参画室では十分、分からないところがある。関係各課の現状を把握した上で次期プランを策定したい。</p> <p>市役所内のことであるので、使えるところはしっかり使って現状把握することができると思う。よろしく願います。他に質問はあるか。</p> <p>資料5の中で、4.重点項目の“現行プランでは「重点項目」として挙げられていることがあまり生かされていない”とある。この冊子の5ページが重点項目の内容だと思うが、あまり生かされていないというのは例えばどういったことか。例えば「男性の生き方を考える講座の開催」と重点項目として挙げられているが、こういったことが展開できていないとか、生かされていない内容が具体的によく分からなかったなので、教えていただきたい。</p> <p>重点項目に挙げられている項目以外にもこの現行プランには90事業くらいある。今までは、その全ての事業について進行管理してきたところがあって、重点項目だからといって特に注目してきたかという、なかなかそこまでできていなかったという反省が今現在ある。今後5年間の重点項目として、もし次も挙げるのであれば、この分野だけでも今の時代特に進めようという視点があってもいいのではないかと今回考えた。</p>
	事務局（谷本）	
	岡本会長	
	奈良委員	
	事務局（谷本）	

	岡本会長	<p>他に気になる点などはあるか。</p> <p>次の審議会では、今進んでいる現行プランの進捗状況のことも審議すると思うので、その中で重点項目の話が出てくると思う。</p> <p>資料7後半について説明をお願いします。</p>
	事務局（谷本）	<p>資料7後半について説明。</p>
	岡本会長	<p>今までの説明で分からない点はあるか。ご理解いただけたか。</p> <p>今の説明の中にあつたワーキンググループというものであるが、市役所内にはいろいろな関係課があるが、関係各課の職員と審議会委員の中からも何名か出ていただいて、ワーキンググループで素案を練っていくという話だった。ご理解いただけているか。人数としては、6～9人くらいを考えているのか。</p>
	事務局（谷本）	<p>審議会委員からは6～9名くらい、職員に関しては関係各課6、7課にお願いしたい。</p>
	岡本会長	<p>今年度は、年明けに第3回の審議会があつて、来年度は5回程度開催する予定である。それとは別に何回かワーキンググループとしての会議を行うこととなる。市役所職員が参加するので、夜間の会になる予定である。</p> <p>今日出席されている委員の中で、ワーキンググループに入ってみようと思われる方はいらっしゃらないか。</p> <p>（立候補者なし）</p> <p>立候補がないようだが、審議会からも参加していただきたい。事務局と相談して、後日個別にお願いすると思うので、お願いに行った折には快くお引き受けしていただきたい。</p>
	事務局（谷本）	<p>改めて個々に連絡させていただくということでよろしくお申し上げ。</p>
	岡本会長	<p>この審議会に出て来られている委員のみなさんは、それぞれにバックグラウンドがあり、いろいろな立場でご活躍されている方であるので、その分野でのご意見をいただきたい。よろしくお申し。</p> <p>議事（2）その他であるが、事務局から何かあるか。</p>
	事務局（谷本）	<p>事務局からはない。</p>

	岡本会長	委員のみなさんから何かあるか。 予定していた議事については以上で終了した。 その他、事務局から何かあるか。
	事務局（谷本）	10周年記念事業のチラシ2種の説明。
	岡本会長	映画「何を怖れる」はおすすめであるので、男女共同参画を勉強しようと思った方はまだ人数に余裕があるのでぜひご覧いただきたい。今年も男女共同参画都市宣言10周年事業として、いろいろな事業をしているので、審議会委員のみなさまにはぜひ参加していただきたい。 委員のみなさんから何かあるか。
	中橋委員	一言いいか。せっかく来させていただいたので、次回までに取り組んでいただきたいことを提案したい。 今回新しくプランを策定するということが非常に期待している。丸亀市は、副市長が育休を取られてイクボス宣言をされたということで、非常に今注目されている。先日も立て続けに2回、副市長の話を伺った。副市長が活躍できるのも市長の理解があってということで、まさにイクボスがいらしたからだと思う。新しいプランを作るにあたって、新しいことを盛り込む、そういう意味ではイクボスで丸亀が今香川県で一番注目をされている中で、できれば取り組み、研究していただけたらと思うことがある。 ワーク・ライフ・バランス推進の指標の1つとして「企業子宝率」という、株式会社東レ研究所の渥美由喜さんが考案し、無料で計算式等を出しているものがある。「企業子宝率」と検索したら、福井県、滋賀県の大津市、静岡県等多くの自治体がワーク・ライフ・バランス推進の指標の1つとして、使用していることが分かる。従業員が企業在職中に持つことが見込まれる子どもの数を企業ごとに算出するものなので、予算がそうかかることではない。働きやすい職場であるということがPRできたり、今この地域の企業の子宝率が高いということを表したりすることができる。実は香川県にも総合戦略に盛り込んでほしいと会議の中でお伝えした。しかし、計画に載ったことはない。四国ではどこも取り組んでいないことである。全国で取り組んでいる県や市がある以上、できないことはないと思っている。なぜやらないか、企業に遠慮があるのか、よく分からないが、各県にお願いしてもできないのであれば、戦略の1つとして、県内の自治体からスタートして、例えば「丸亀でできたのに、なぜ香川県でできないのか」というように草の根的に小さな自治体から県域に広げていけないかと思ってい

		<p>る。丸亀市として「企業子宝率」を出すことに取り組めるかどうか、労働政策担当との協議が必要だと思うけれども、ぜひ次回の審議会までに予習をしてきていただきたい。私も実際できるものかどうか分からないので、研究しておいていただけたらありがたい。</p> <p>あと会長のほうからM字のカーブの底が丸亀は上がってきているという話を聞いた。M字カーブと少子化はものすごくリンクしていることである。M字カーブの底が浅くなったということは、出生率が丸亀は上がってきていることが想像できるが、その相関関係がはっきり出ているのであれば、それは丸亀市のPRになる。消滅する可能性のある自治体もあるといわれている中、はっきりと近隣の自治体との差別化をしていかないと生き残れなくなってきた。自治体が生き残るための鍵となるデータを握るということでは非常に大事な審議会だと思う。大事な部局だと思うので、そのあたりのデータも拾って教えていただけると、現行プランにはなかったまた新しい項目、新しい指標、新しい指数を盛り込むことができ、関わっている意味があると思うので、ぜひお願い致したい。</p> <p>事務局（谷本） 「企業子宝率」あまりよく知らなかったので、しっかり予習したい。</p> <p>中島委員 さきほどのワーキンググループに立候補したい。</p> <p>岡本会長 ここまでで、今回の審議会を終了する。次回は2月か3月頃を予定している。さきほど申し上げたように現行プランの進捗状況を検証したい。みなさんと一緒に検証することで、現行プランをどのように次期プランに引き継いでいくか、全くそのままを引き継ぐのではなくて、“今できていること”、“できていないこと”、“だからこれを引き継いでいく”という視点で見ていただけたらと思うので、そういうようなご意見をいただきたい。</p> <p>事務局（谷本） 本日は感謝申し上げます。</p> <p>— 閉会 午後3時 —</p>
--	--	---